



消化器内視鏡技師

外来 乙幡 真由美

私は消化器内視鏡技師の資格を取り 10 年になります。主な業務内容は内視鏡検査・治療の介助です。当院の内視鏡室では、上部消化管（食道・胃・十二指腸）と下部消化管（大腸）内視鏡検査、ポリープ切除術などを行っています。内視鏡検査は前日から食事制限や下剤の内服が必要になるため、検査説明を行います。

内視鏡検査は苦しくて辛いと思い緊張する患者さんが多いため、不安を軽減し、リラックスして検査や治療が受けられるように丁寧に説明することを心がけています。検査では苦痛を最小限にするために鎮静剤を使用しています。「眠っている間に検査が終わって楽だった。」という言葉が多く聞きます。患者さん一人ひとりには短時間の関わりですが、「安心して検査できた。」という言葉をいただくと、とても嬉しく思います。患者さんが安心して安全に検査・治療が受けられるように、内視鏡技師学会などに定期的に参加し、最新の知識や技術を学びます。消化器内視鏡看護師として、医師と外来看護師とチームワーク良く、「村山医療センターの内視鏡は良かった！」と思っていただけるよう鋭意努力していきます。

乙幡さん



こんにちは ワン
ご協力よろしくお願いします♪



続いて、ちけん君と 治験看護師です！

治験看護師



荒井さん

荒井 仁美

私は 2013 年から治験管理室で CRC（Clinical research coordinator）として働いています。臨床研究コーディネーターと言われています。治験や臨床研究という言葉は聞いたことがあるかもしれませんが、臨床研究コーディネーターの仕事をご存知の方は少ないかもしれません。

CRC の役割とは臨床研究が計画通りに進められるように調整することです。被験者さんや医師、製薬会社と多くの人に関わる中で滞りなく臨床研究（治験）が進められるよう事務的業務やスケジュールの調整など臨床研究（治験）業務全般のサポートを行います。CRC になるための特別な資格はありませんが、実務の中で専門性が問われるため、看護師の知識や経験を役立てることができる職種です。業務は多岐にわたり臨床研究のサポートだけでなく、書類の作成業務や製薬会社への報告や連絡などビジネスマナーが問われる場面もあります。

臨床研究を計画通りに進めるためには関係部署との連絡、調整が欠かせません。被験者への気配りだけでなく、関係部署への配慮も重要だと考えています。院内、外部の様々な職種の方と関わる機会が得られることは、これまで病棟や外来で勤務してきた中で経験したことのないことばかりで日々勉強です。自分が治験等で携わった新薬や医療機器が承認されると病棟に勤務していた時には得られないような達成感があります。